

学校教育で気候科学を教える必要性



気候危機は、都市や政府、地球上に住むあらゆる人々に次から次へと多くの困難をもたらしており、そのことは日々ニュースになっています。しかし、学校の授業計画にはあまり取り入れられていません。米国ナショナル・パブリック・ラジオ（NPR）の最近の調査では、気候変動に関する授業を行っていると回答した教育者はわずか 42 パーセントでした。また、このテーマに関しては多くの地域で教育基準が定められておらず、場所によって授業の内容が大きく異なるケースも見られます。

これは大問題です。多くの保護者が「温暖化が進む世界で、将来を生きる子どもたちにどのような備えをさせたらよいのか？」と疑問に思うのも当然でしょう。

その答えは、包括的で、基準に基づいた気候科学の教育があらゆる地域の学校カリキュラムに取り入れられるよう活動すること、です。

子どもたちには気候科学が必要です。そして保護者は、子どもたちが気候科学を学ぶ上で何が妨げになっているかを知らなければなりません。

若者たちを適切に教育する上で最大の課題の一つが、教科書や授業計画から気候科学を排除しようとする気候変動否定論者たちの企てに対抗することです。否定論者たちの狙いは、気候変動について子どもたちに知らせないでおくこと、または、真実と異なる形で伝えることです。それはつまり、事実ではなく否定論者の持論です。

こうした否定論者の中には、人為的な気候変動など現実にはないと信じ込んでいる人がいます。一方、何かしらの思惑がある人もいて、たいていの場合、その中心は化石燃料業界への支援です。そのような人たちは、自分たちの考えを広め、未来を直接的に脅かす危機について、その未来を生きる若者たちに知られないようにするためなら、どんなことでもするでしょう。

気候科学教育の価値

立ち向かうには、問題を理解しておく必要があります。

私たちが今直面している危機は、人々の健康の維持や安全な水の確保を妨げます。農業を営む人たちにも、食料の栄養価にも悪影響を及ぼします。極端な気象現象が頻発して、ハリケーンや山火事、洪水、干ばつ、熱波でますます多くの命が失われるでしょう。ベクター媒介性感染症や水系感染症も増えます。

子どもたちが引き継ぐのはそんな世界です。憂慮する市民、保護者、教師として、子どもたちがいずれ直面する真の未来に備えられるようにし、その後何世代にもわたって、より良い持続可能な未来を支えていくための解決策を探る戦いを続け、やがてその戦いをリードしていけるようにすることは私たちの義務なのです。

科学的に正しく確かな教育は、子どもたちが環境や社会に対する意識を持った大人へと成長し、コミュニティとも密接につながる助けになるでしょう。もちろん、教えるのは簡単ではありません。しかし、子どもたちにとって最も大切な学びの一つとなるのではないのでしょうか。

基準に基づく気候科学教育を直ちに行う必要性を訴える上で、友人や近隣の住民のほか、地域の教育者や学校関係者、教育委員会、PTA などに伝えるべき3つのポイントを以下に紹介します。

1.子どもたちがやがて経験する危機に関する真実を否定するのは間違いである

- 子どもたちは、私たちの未来です。気候危機との戦いに必要なツールを子どもたちに手渡すのは、道徳的にも倫理的にも正しい行いです。
- 気候危機について正直に伝えず真実を隠せば、子どもたちに極めて大きな影響が及ぶおそれがあります。危機への対応がさらに難しくなり、その先、より困難な現実直面することになるでしょう。
- 若者たちに気候危機の緊急性と影響を伝えることは非常に大事ですが、同じくらい大事なのは、間違いがなく、不備もないメッセージを伝えることです。それはつまり、正確で、基準に基づいた教育を行うということです。**慎重に正否を見極めた事実**を広く伝えていく必要があります。

2.気候変動対策に果たす役割を担うことで、子どもたちは多くを学べる

- 子どもたちはとても賢いです。気候に関して適切な教育を受ければ、子どもたちが保護者や兄弟姉妹、友人たちと気候について話すきっかけになったり、新たな視点を提供してくれるような可能性があります。
- 気候変動について教えることで、子どもたちは、自然科学の面からも社会的側面からもこの世界への理解を深め、**間もなく引き継ぐことになる世界**にしっかりと備えることができます。
- 事実に基づく教育によって、子どもたちの自主的に考える力が養われます。
- 現代の最大の課題を引き受けるには、リーダーシップを発揮する必要があります、そのための大事なスキルが身につきます。
- さらに、リーダーシップのスキルは変化を起こします。子どもたちは、すでに気候変動について他の子どもたちに呼びかけていて、気候対策を訴えて学校ストライキを行う世界的な運動につながっています。

3.気候危機の解決策は素晴らしい仕事を多く生み出す

- クリーンで環境に配慮した新たな経済は、未来の仕事のあり方を提示します。環境関連の雇用、つまり「グリーン・ジョブ」の数やその機会は、すでに急速に拡大しています。
- 気候危機の解決策が確立されれば、近い将来に向けて雇用が創出されることになります。実際、2030年までだけでも2400万の雇用が創出される可能性があります。
- クリーンエネルギー、運輸、効率化サービスといったセクターは特に、地域の経済成長や将来の雇用拡大に役立つ貴重な機会を提供します。
- このように拡大を続ける労働市場にうまく活用するには、若者たちはこうした気候関連の分野でトレーニングを積む必要があります、そのための土台を早いうちから整え、学校教育を通じて固めていかなければなりません。